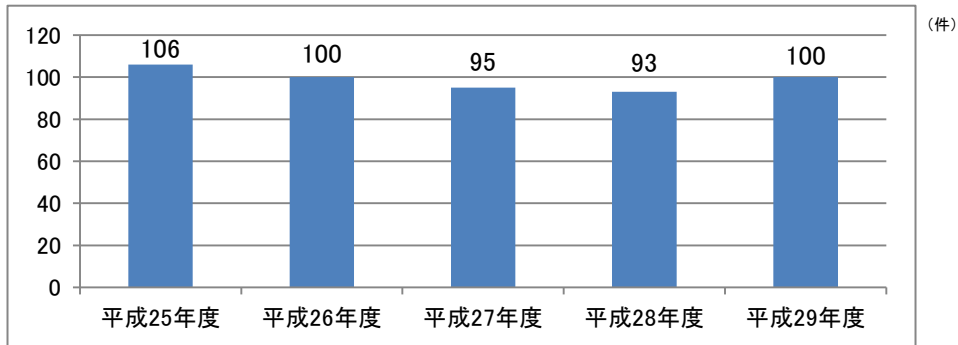


57 公開講座等(セミナー)の主催数

○項目の解説

国立大学附属病院には、地域住民や医療機関で仕事をしている医療関係者に最新の医療知識を広める社会的責任があります。その責任をどの程度果たしているかを示した指標です。国立大学附属病院が自ら企画している点を評価するため、他の団体が主催する講師・演者として参加した場合を除いています。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

平成21年度に「地域がん診療連携拠点病院」、「北海道高度がん診療中核病院」、「肝疾患診療連携拠点病院」に認定されている当院は、地域の拠点病院としてがんや肝疾患に関する高い専門性、先進性を社会に還元すべく、地域住民向け公開講座や各種研修会を多数開催しており、毎年多くの皆様に参加いただいています。

また、旭川市と近隣自治体に向けたITを活用した公開講座として、インターネットのテレビ会議システムにより、当院の遠隔医療センターと各地域の会場との間でリアルタイムの質疑応答が可能な「北海道メディカルミュージアム」を開催し、ご好評をいただいています。

このほか、道内をはじめとする各地の高等学校や各種学校、専門学校を対象とした教育関連ワークショップ・研修会や、地域の医療者を対象とした医療技術に関する講習会・講演会なども定期的に開催しています。

○定義

当該年度1年間に自院が主催した市民向けおよび医療従事者向けの講演会、セミナー等の開催数です。

学習目的及び啓発目的に限り、七夕のタベ、写真展等の交流目的のものは含みません。また、主として院内の医療従事者向け、入院患者向けのものも含みません。他の主催者によるセミナー等への講師参加は含みません。医療従事者向けのブラッシュアップ講座等病院主催として、病院で把握できるものは含みます。

○算式

実数